

大学院 経済・経営システム研究科

客員教授

伊藤 善朗

いとう よしろう

研究業績 (2017年9月末日現在)

【著書】

1	『予算統制システム-その有効性に関する研究』,同文館,1993年
---	----------------------------------

【論文】

1	「企業の社会的責任」『経営経理研究』(拓殖大学経営経理研究所紀要),4号,1970年10月,85-104頁.
2	「予算の経営学的意義」『経営経理研究』(拓殖大学経営経理研究所紀要),7号,1972年6月,43-62頁.
3	「予算の基本原則」『経営経理研究』(拓殖大学経営経理研究所紀要),1972年11月,353-372頁.
4	「予算過程」『経営経理研究』(拓殖大学経営経理研究所紀要),9号,1973年2月,34-53頁.
5	「経営資本の論理」『海外事情』(拓殖大学海外事情研究所紀要),21号,1973年6月,50-57頁.
6	「COBOL PROGRAMINGの教授法に関する一考察」『経営経理研究』(拓殖大学経営経理研究所紀要),10号,1973年6月,51-80頁.
7	「日本企業から見た東南アジア海外進出」『海外事情』(拓殖大学海外事情研究所紀要),22号,1974年1月,81-88頁.
8	「資本主義における自由と平等」『経営経理研究』(拓殖大学経営経理研究所紀要),12号,1974年6月,17-43頁.
9	“Corporate Social Responsibilities”『経営経理研究』(拓殖大学経営経理研究所紀要),1976年.
10	“Corporate Social Responsibilities and Budgeting”『拓殖大学論集』,1977年.
11	「経営職能と予算」『経営経理研究』(拓殖大学経営経理研究所紀要),12号,1977年12月,55-72頁.
12	“Management and Budgeting”『拓殖大学論集』,117号,1978年3月,287-301頁.
13	「役割葛藤に関する一考察」『経営経理研究』(拓殖大学経営経理研究所紀要),20号,1978年10月,1-26頁
14	「参加的予算とその限界」『経営経理研究』(拓殖大学経営経理研究所紀要),22号,1979年12月.25-48頁.
15	”Organizational Slack in Budgeting” Working Paper The University of Texas,1980

16	「合理性モデルと組織の弾力性について」 『拓殖大学論集』,127号,1980年3月,189-206頁.
17	「マトリックスによる原価計算—工程別総合原価計算」 『経営経理研究』(拓殖大学経営経理研究所紀要),24号,1980年10月,51-82頁.
18	「マトリックスによる原価計算—標準工程別総合原価計算」 『経営経理研究』(拓殖大学経営経理研究所紀要),25・2号,1981年3月,121-147頁.
19	“Behavioral Problems of Budgeting” Working Paper The University of Texas, 1982
20	“Role – Conflicts Aspects of Budgeting” Working Paper The University of Texas,1982
21	「人間相互間におけるコミュニケーション」 『経営経理研究』(拓殖大学経営経理研究所紀要),30号,1983年3月,1-22頁.
22	「個人行動を決定する要素」 『経営経理研究』(拓殖大学経営経理研究所紀要),34号,1985年2月,35-58頁.
23	「製造間接費差異に関する一考察」 『拓殖大学論集』,149号,1984年6月,285-313頁.
24	「Micro REPOによる原価計算」 『拓殖大学論集』,155号,1985年5月,227-265頁
25	「Micro REPOによる工程別総合原価計算（１）」 『経営経理研究』(拓殖大学経営経理研究所紀要),35号,1985年9月,21-55頁
26	「Micro REPOによる工程別総合原価計算（２）」 『経営経理研究』(拓殖大学経営経理研究所紀要),36号,1986年2月,29-72頁
27	「組織における人間関係」 『研究年報』（拓殖大学研究所紀要）,1987年
28	「組織統制の必燃性」 『経営経理研究』(拓殖大学経営経理研究所紀要),39号,1987年11月,21-43頁
29	「ステップ式総合原価計算表—先入先出法の場合」 『経営経理研究』(拓殖大学経営経理研究所紀要),40号,1988年3月,1-25頁
30	「ステップ式総合原価計算表—後入先出法の場合」 『拓殖大学論集』,174号,1988年12月,169-188頁
31	「企業結合の意義-国際会計基準を中心に-」 『経営経理研究』(拓殖大学経営経理研究所紀要)43号,1989年9月,23-47頁
32	「企業結合の会計処理法—国際会計基準を中心に-」 『経営経理研究』(拓殖大学経営経理研究所紀要),44号,1990年3月,1-35頁
33	「経営意思決定における会計情報の役割」 『経営経理研究』(拓殖大学経営経理研究所紀要),45号,1990年9月,35-56頁
34	「原価差異の予算化」 『経営経理研究』(拓殖大学経営経理研究所紀要),48号,1992年3月,51-72頁
35	「参加的予算—アージリスの実態調査研を中心に」 『拓殖大学論集』,199号,1992年12月,127-151頁
36	「参加的予算の理論的基礎」 拓殖大学論集(社会科学系)(拓殖大学研究所紀要),1(3)号,1994年1月,71-97頁
37	「総合原価計算過程の視覚的展開」 『経営経理研究』(拓殖大学経営経理研究所紀要),52号,1994年3月,1-31頁

38	“Budgeting and Role Conflict in Organization”『拓殖大学論集』(社会科学系),2(3)号,1994年12月,259-287頁
39	「利益差異情報の体系化」『経営経理研究』(拓殖大学経営経理研究所紀要),54号,1995年9月,67-85頁
40	「労働価値説における製品製造原価の意義と問題点」『経営経理研究』(拓殖大学経営経理研究所紀要),55号,1996年3月,39-63頁
41	「シンプレックス法の教授法に関する一考察-単位列ベクトル化法の提案-」『経営経理研究』(拓殖大学経営経理研究所紀要),56号,1996年6月,89-119頁
42	「作業時間差異分析法に関する一考察-価格法と数量法の統合-」『経営経理研究』(拓殖大学経営経理研究所紀要),57号,1996年12月,35-53頁
43	「中国の原価計算-1枚の原価計算表からの推測」『経営経理研究』(拓殖大学経営経理研究所紀要),58号,1997年6月,131-150頁
44	「コンピュータ会計教育の在り方-Excelによるシステム開発」『経営経理研究』(拓殖大学経営経理研究所紀要),59号,1997年12月,113-138頁
45	「会計基準の国際的調和化」『経営経理研究』(拓殖大学経営経理研究所紀要),60号,1998年6月,85-104頁
46	“Quality Budgeting: Budgetary Control for Continuous Improvement”『経営経理研究』(拓殖大学経営経理研究所紀要),61号,1998年
47	「コンピュータ支援会計教材の開発-Power Pointによる場合-」『経営経理研究』(拓殖大学経営経理研究所紀要),62号,1999年6月,35-62頁
48	「コンピュータ簿記教材の開発-関数利用を中心として-」『経営経理研究』(拓殖大学経営経理研究所紀要),64号,2000年3月,189-220頁
49	「中国会計改革の国有企業への影響」『経営経理研究所 アジアプロジェクト研究成果報告書』(拓殖大学研究所紀要),2001年
50	“Accounting for a Genuine Business Entity” Working Paper 拓殖大学大学院商学研究科,2001
51	“The Effects of the Point-Slope Method on Developing Student’s Analytical and Conceptual Thinking” Working Paper 拓殖大学大学院商学研究科,2001年
52	“A New Dimension to Material Quantity Variance Analysis” Working Paper 拓殖大学大学院商学研究科,2002年
53	“Toward a Contribution Basis of Valuation in Accounting”『経営経理研究』(拓殖大学経営経理研究所紀要),69号,2002年6月,1-69頁
54	“Improved accounting for intangibles: Toward a More Complete Description” Working Paper 拓殖大学大学院商学研究科,2004年
55	“Accounting for the Value of an Enterprise: Sustainability as an Ultimate Evidence of the Existence of Intangibles” Working Paper 拓殖大学大学院商学研究科,2004年
56	「無形資産の会計処理」『経営経理研究』(拓殖大学経営経理研究所紀要),75号,2005年8月,1-24頁

57	「原価分解の一般的解法について—高点低点法からの推論」 『経営経理研究』(拓殖大学経営経理研究所紀要),76号,2005年12月,1-28頁
58	“Materials Quality Variance Analysis Based on Quality Assessment” 『経営経理研究』(拓殖大学経営経理研究所紀要),77号,2006年3月,11-32頁
59	「資産の現在価値について—剥奪価値と公正価値の融合」 『経営経理研究』(拓殖大学経営経理研究所紀要),78号,2006年8月,1-28頁
60	「現代会計研究の動向」 『経営経理研究』(拓殖大学経営経理研究所紀要),79号,2006年12月,1-29頁
61	“Measuring the Genuine Wealth of Manufactured Capital: Accounting for a More Complete Description” 『経営経理研究』(拓殖大学経営経理研究所紀要),79号,2006年12月,31-52頁
62	「収益認識基準の在り方—会計情報の質的特性と財務報告の目的からの検討」 『経営経理研究』(拓殖大学経営経理研究所紀要),80号,2007年3月,13-46頁
63	「公正価値会計と利益情報の質」 『経営経理研究』(拓殖大学経営経理研究所紀要),85号,2009年3月
64	「会計情報の質的特性—Exposure Draft May 2008を中心に—」 『経営経理研究』(拓殖大学経営経理研究所紀要),87号,2010年1月
65	「IASB/FASB概念フレームワークにおける関連性定義の二重性について—関連性理論からの検討—」 『経営経理研究』(拓殖大学経営経理研究所紀要),96号,2012年12月